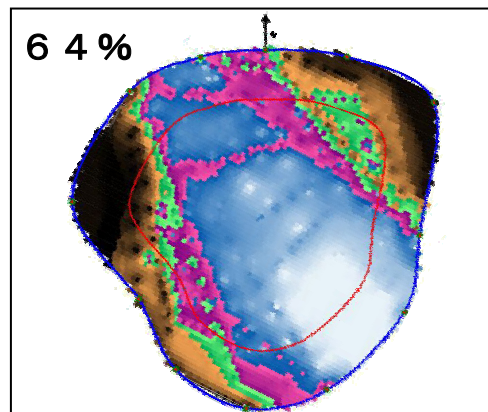
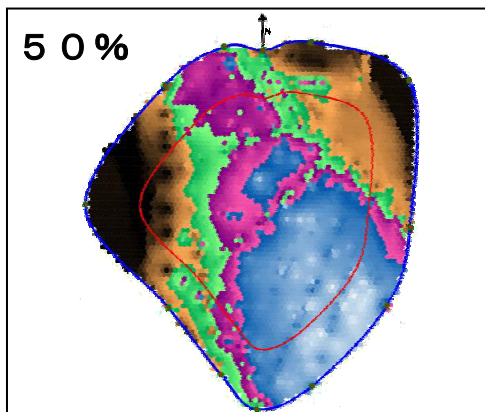
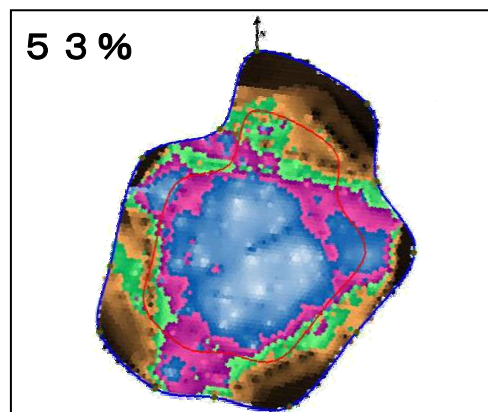
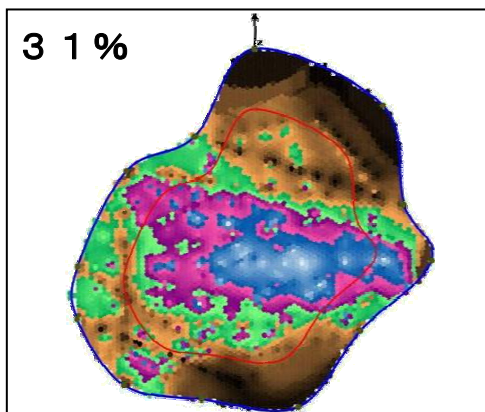


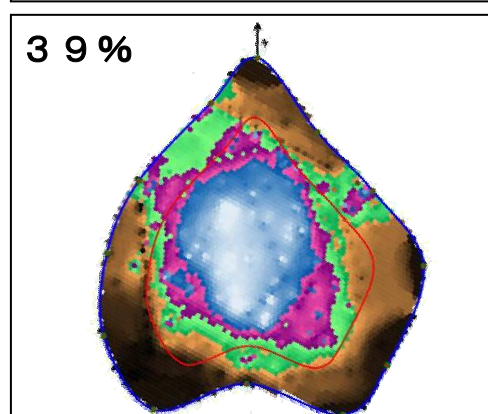
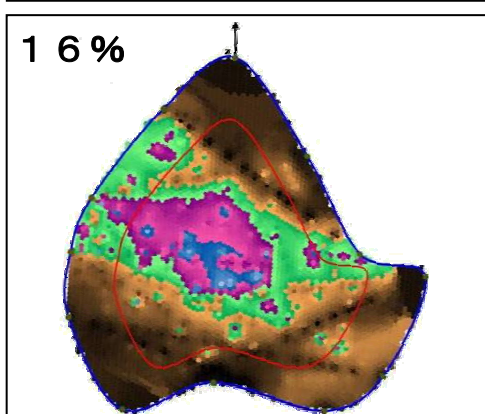
No. 1 6



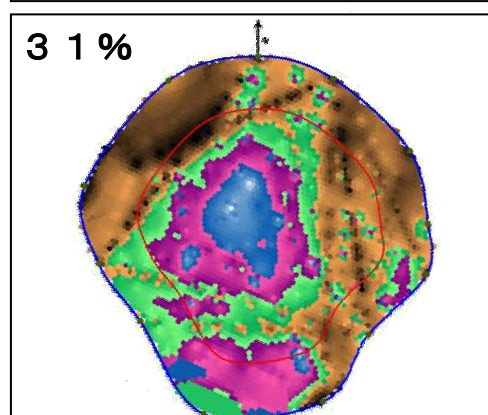
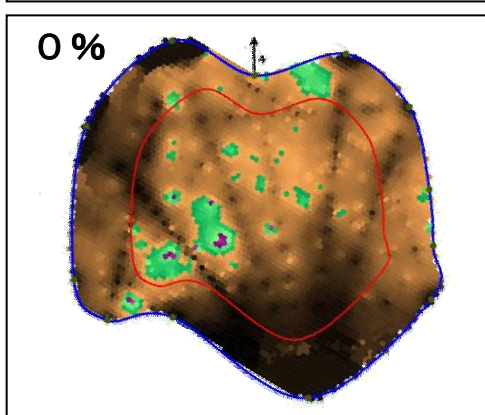
No. 2 0



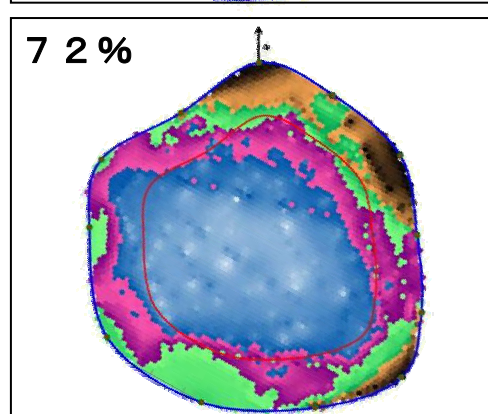
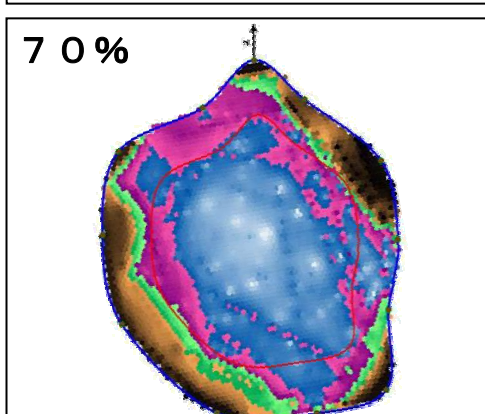
No. 3 2



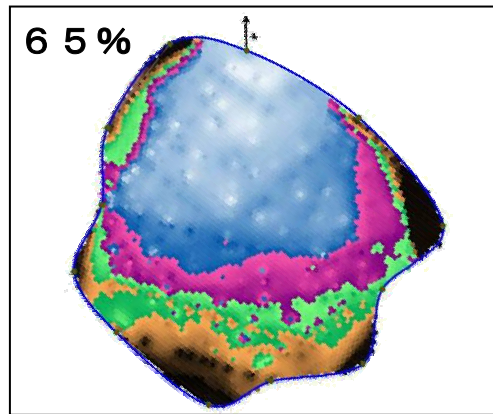
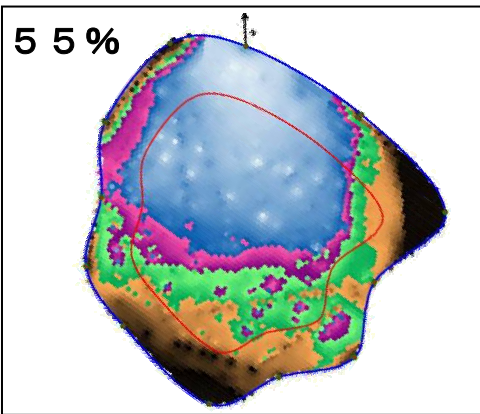
No. 4 2



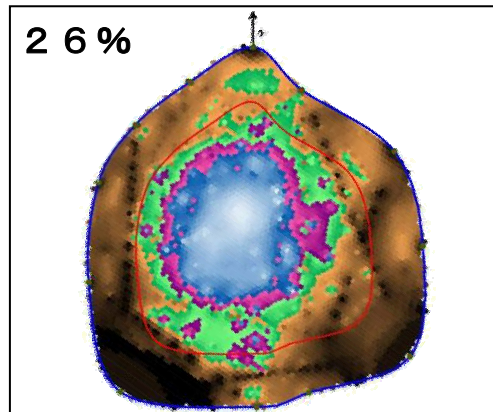
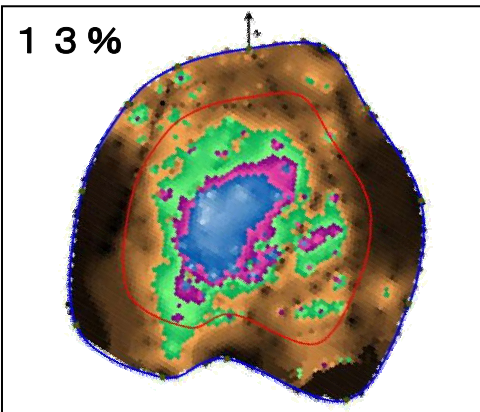
No. 4 3



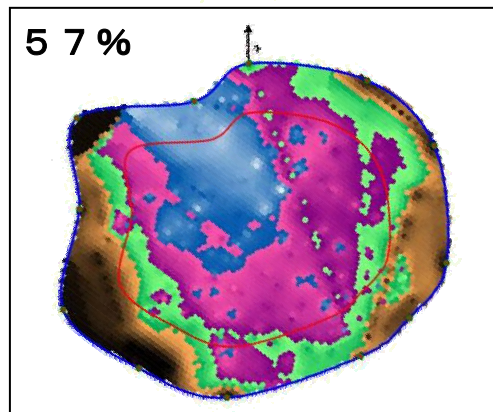
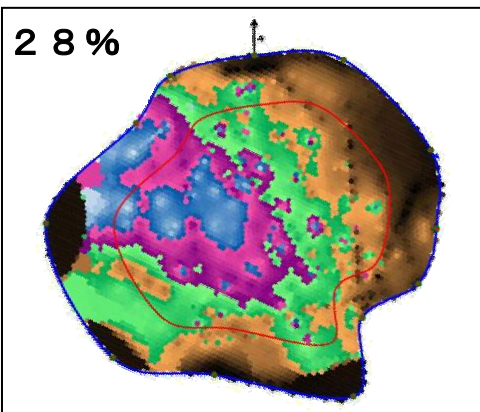
No. 4 7



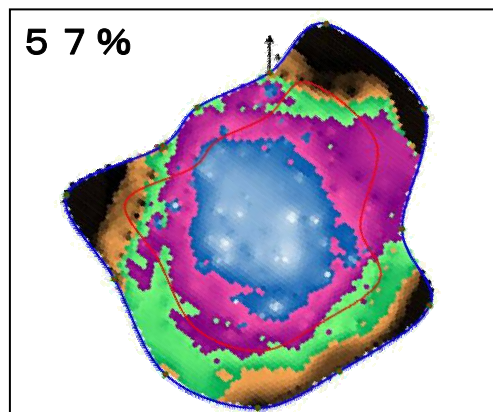
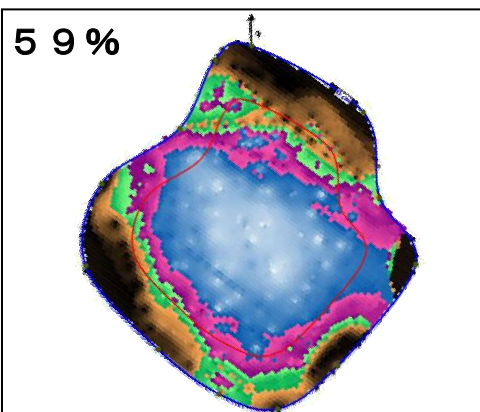
No. 4 8



No. 4 9



No. 5 0



- ・ 左が平成 21 年 12 月 20 日に行ったもの、右が平成 22 年 12 月 19 日に行ったものです。
- ・ 測定は玉川大学山岡准教授と山岡准教授ゼミの学生達、指導は石井誠治樹木医です。
- ・ ピカスという機械で測定・分析されたものです。
- ・ 腐朽断面積率は、その木の健康状態を表しています。腐朽率が 50%以上だと、幹折れ、倒木の危険が高いといわれています。

% : 測定腐朽断面積率

白色	} 腐朽部位を示している。 紫色、青色、白色の順で腐朽がひどくなっていることを表す。
青色	
紫色	
緑色	} 腐朽していない部分を示している。 緑色、茶色の順で材がしっかりとっていくことを表している。
茶色	